

コレクション展1: 明治の美術

ワグマン、五姓田義松そして黒田清輝

神奈川県立歴史博物館所蔵作品とともに

Museum Collection 1 : Art of the Meiji era

Charles Wirgman, Yoshimatsu Goseda and Seiki Kuroda

With works from Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

会期：2016年4月8日(金)-5月15日(日)

会場：神奈川県立近代美術館 葉山

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日

観覧料：一般250(150)円、20歳未満と学生150(100)円、65歳以上と高校生100円

主催：神奈川県立近代美術館

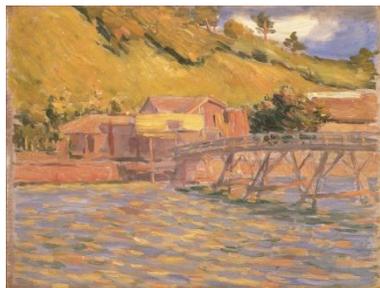
特別協力：神奈川県立歴史博物館

・()内は20名以上の団体料金です。

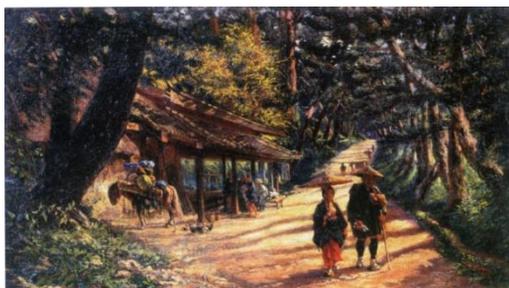
・中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

・その他の割引につきましてはお問い合わせください。

・ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は5月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。



(1)黒田清輝《逗子五景》(五点連作のうち四) 1898年頃 油彩、板 当館所蔵



(2)チャールズ・ワグマン《街道》1872年 油彩、カンヴァス 神奈川県立歴史博物館所蔵



(3)本多錦吉郎《中禅寺湖夜景》1880年頃 油彩、カンヴァス 当館所蔵

展覧会紹介

「原田直次郎展」と同時に開催する当館所蔵のコレクション展です。明治時代に活躍した洋画家の原田直次郎に関連して、明治期の作品に焦点をあて展示いたします。明治初期の日本洋画に大きな影響を与えたイギリス人画家チャールズ・ワグマン(1832-1891)の作品をはじめ、彼から薫陶を得た高橋由一(1828-1894)や五姓田義松(1855-1915)の作品を神奈川県立歴史博物館と当館の所蔵品のなかから厳選して明治期の洋画の流れを通観します。



(4)五姓田義松《老母図》1875年 油彩、カンヴァス 神奈川県立歴史博物館所蔵

特に五姓田義松は、昨年、県立歴史博物館で大回顧展が開催され大きな話題を呼んだ画家です。この時代、日本洋画壇を牽引した浅井忠(1856-1907)や松岡壽(1862-1944)ら堅実な写実に根差した明治美術会の画家たちが活躍し、フランス留学で学んだ印象派風の光溢れた画面作りを試みた黒田清輝(1866-1924)らも登場します。そして、明治後期の浪漫派が現れ、大正期の自由を謳歌する絵画に結び付いていきます。本展を通して明治期の洋画のダイナミックな展開をご堪能ください。

■学芸員によるギャラリー・トーク

日時：4月23日(土)、5月7日(土) 各日午後2時から

※申込不要、参加無料(ただし「原田直次郎展」または「コレクション展1」の当日観覧券が必要です)